

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		学校施設開放事業 (真壁)				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	030402000091
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	090501
政策体系	政策名	03	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり		主要事業	対象外	スポーツ振興課		
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興		市長マニフェスト	対象外			
	基本事業名	02	スポーツ施設の充実と有効利用		未来PJ事業	対象外	グループ	スポーツ振興G	
					合併建設計画事業	対象外			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	事業期間	
		01	10	06	02	05	00	単年度繰返し (平成17年度~)	
法令根拠		桜川市学校施設開放に関する規則				一般会計		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
						体育館管理事業 (真)			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>【事務事業の内容】 真壁地区内にある小学校4校と中学校2校の体育施設を開放する事業である。各学校に夜間管理員1名委託し雇用している。平成28年度現在の使用料は、無料となっている。 教育委員会が管理する学校体育施設を開放し、一般市民の利用に供する事業である。利用方法は、学校施設利用希望者 (スポーツ少年団や体育協会のバレーボール、ビーチボールバレーなど) 市内の学校施設を申請し許可を受け決められた時間内に学校施設を利用する。 毎年、学校開放運営委員会を開催している。</p>		<p>【担当者が行う業務の手順】 市職員業務・使用許可申請書の受付、使用許可書の交付、利用調整 (団体、学校、管理員) 管理員業務、施設の開閉戸締りの確認、備品の確認  今後、開放時の使用料について各委員から意見を聞いて使用料の在り方を検討する。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
利用方法は、学校施設利用希望者 (スポーツ少年団や体育協会のバレーボール、ビーチボールバレーなど) 市内の学校施設を申請し許可を受け決められた時間内に学校施設を利用する。	開放学校数	校	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	開放日数 (各学校延べ日数)	日	1,120.00	1,120.00	1,120.00	1,120.00	1,120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民	人口 (常住人口)	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
体育施設を利用してスポーツを楽しむ。	利用者数	人	23,300.00	2,025,100.00	23,000.00	23,000.00	23,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
入	業	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,682	1,701	1,872	1,800	1,800	0
	事業費計 (A)	千円	1,682	1,701	1,872	1,800	1,800	0	
量	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
		述べ業務時間	時間	66.00	61.00	60.00	60.00	60.00	
		人件費計 (B)	千円	191	177	174	174	177	
トータルコスト (A)+(B)			千円	1,873	1,878	2,046	1,974	1,977	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)			
	科目	金額			科目	金額		
	07 賃金	1,701			07 賃金	1,872		
	合 計	1,701			合 計	1,872		

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	学校施設開放事業（真壁）	事務事業No.	30402000091	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和50年スポーツ少年団の活動場所の確保。市民の体づくり・健康づくりと地域のコミュニケーション促進を目的に開放された。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 備品の充実	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	無駄のない施設の利活用ができるための利用調整の精度を上げる。 管理体制とその方法の見直し。 学校施設は、既存の利用団体がほぼ固定化されており、新規登録団体が使用しにくい環境にある。そこで、施設利用の公平性等の観点から、利用団体間で協議し調整を図り公平な利活用を実現する。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	小中学校の体育施設の貸出で、市民が体育施設を利用してスポーツを楽しむようになることによって、結果のスポーツを行う場所の確保、スポーツを楽しむ機会の増加に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民が市内にある施設を利用できることは、利便性が高くスポーツを楽しむ機会と体づくり、健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	無駄のない施設利活用のための利用調整の精度を上げる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は管理人に対する、賃金が大きく占めている。管理方法について、住民の協力などが得ることができれば事業費の削減は可能であるが、困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	学校施設利用については無料となるが、他の体育施設については有料となるため施設の利用、管理を含め、今後見直しを行う。（学校開放委員への委嘱）

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	市民がスポーツを実践し、地域のコミュニケーションの場となり、健康増進につながっている。無駄のない施設の利活用ができるよう利用調整の精度を上げる。管理員の雇用契約方法を改善し、管理体制の見直しをすることも経費削減の方法につながる。施設利用は市民誰もが利用でき、利用料金は、無料である。																								
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>無駄のない施設の利活用ができるための利用調整の精度を上げる。</li> <li>管理体制とその方法の見直し。</li> <li>学校施設は、既存の利用団体がほぼ固定化されており、新規登録団体が使用しにくい環境にある。そこで、施設利用の公平性等の観点から、利用団体間で協議し調整を図り公平な利活用を実現する。</li> </ul>		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	③																							
		コスト削減優先度評価結果	⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う）	<input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出